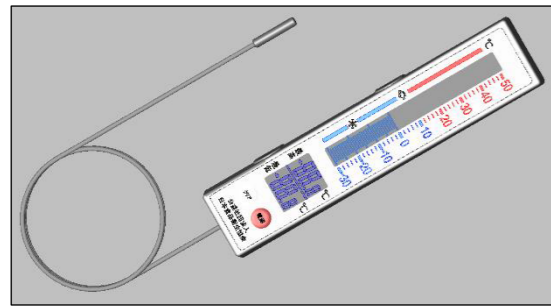


取扱説明書



はじめに
 このたびは、N-700 日食協バーグラフ温度計をご購入いただき誠にありがとうございます。
 本製品は温度計本体と接続されたケーブルの先端にあるセンサ部分の温度を測定する隔測温時計です。
 本製品を正しくお使いいただくために取扱説明書は必ずお読みください。またいつでも読み返せるように大切に保管してください。

1. 注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項をお守りください。お守りいただけない場合、安全性や本製品の性能が損なわれる可能性があります。

- 記号についての説明**
- 警告** この表示は、取扱いを誤ると使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
 - 注意** この表示は、取扱いを誤ると損傷を負う、または物的損害が発生する内容を示します。
 - 禁止事項** (してはいけないこと) を示します。
 - 指示** 指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示します。

	警告
	腐食性ガスや爆発性ガスが発生する場所では使用しないでください。本器の破損や爆発事故を誘発する可能性があります。
	電池が液漏れした際は液体に触れないでください。眼に入った場合は、こすらないで水で洗い流し直ちに医師の治療を受けてください。失明の原因となる場合があります。

	注意
	直射日光や紫外線などが当たる環境下での保管や使用はしないでください。変形や故障の原因になります。
	本体は完全防水構造ではありません。絶えず水が掛かるような場所での使用や水洗いはしないでください。故障の原因になります。
	極端に塩分の多い場所や有機溶剤が付着するような環境下での使用はしないでください。故障の原因になります。
	運搬および取扱いの際は振動、落下などの衝撃を避けてください。破損の原因になります。
	強力な電磁波を発生するものまたは帯電しているものの近くで使用しないでください。誤動作の原因となります。
	ケーブルを強く引っ張らないでください。また小さな半径で繰り返し曲げないでください。断線の原因になります。
	センサを固形物へ突き刺さないでください。破損の原因になります。
	液晶表示部に強い衝撃を与えたり強く押しついたりしないでください。破損の原因になります。
	測定範囲内であっても、上限付近から下限付近となるような急激な温度変化での測定は行わないでください。故障の原因となります。
	ケーブルが巻き込まれたり引っ掛かったりする恐れのある状態では使用しないでください。けがや破損の原因となります。
	電池交換以外での分解や改造を行わないでください。故障の原因となります。
	お手入れの際は、シンナーなどの溶剤、磨き粉、熱湯などを使用しないでください。変形や故障の原因となります。
	電池交換の際は湿気の多い場所や濡れた手でを行わないでください。故障の原因となります。
	本体は使用環境範囲内 (温度 -10~+50℃、湿度 80%以下) の屋内で使用してください。
	センサは -40~+70℃ の範囲内でご使用ください。

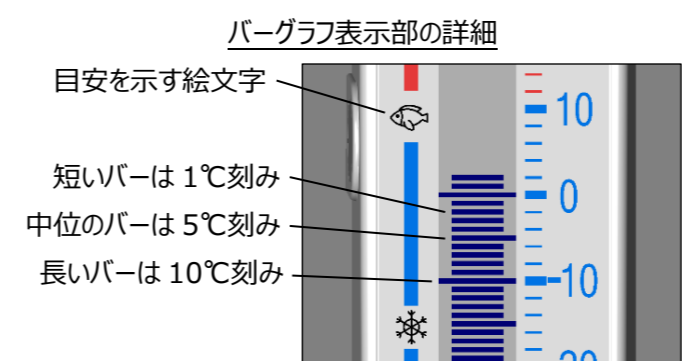
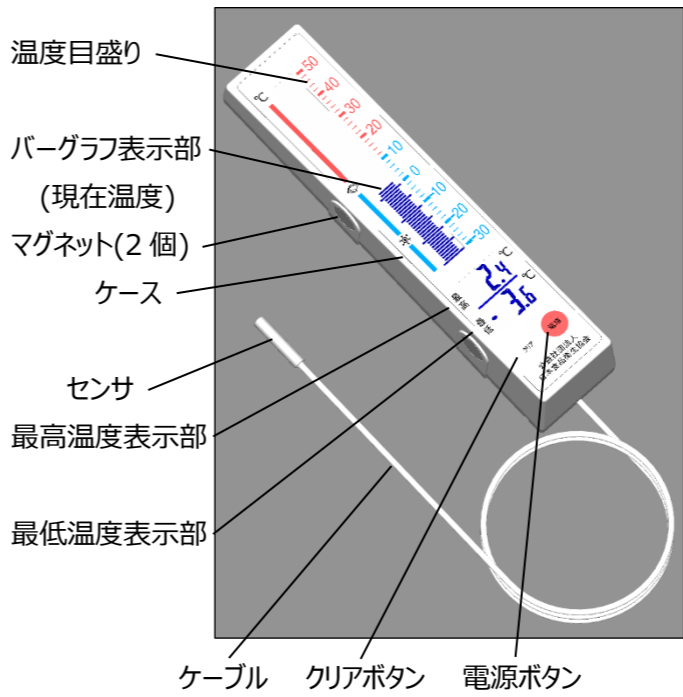
2. 製品の構成

開梱の際は以下の全てが揃っていることをご確認ください。

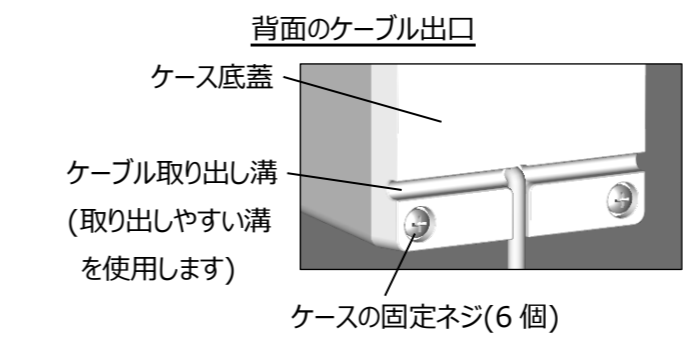
- ・ N-700 温度計本体 …1 個
- ・ アルミテープ …1 個
- ・ クッションテープ …1 個
- ・ 取扱説明書(本書) …1 部
- ・ 面ファスナー …1 個

- ・ アルミテープ …1 個
- ・ クッションテープ …1 個
- ・ 取扱説明書(本書) …1 部

3. 本体各部の名称

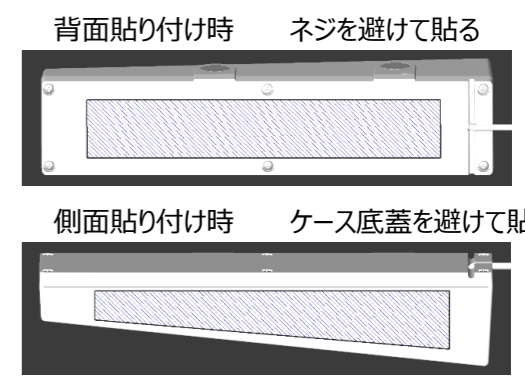


図の例では 2℃以上 3℃未満の温度を表しています。



4. 使用方法

- 4-1. 本体を設置する
- ① マグネットを利用して設置する
 本体左側にあるマグネットが利用できる場合は、そのまま金属面に設置してください。
 - ② 面ファスナーを用いて設置する
 マグネットが利用できない場合は、付属の面ファスナーを用いて設置します。
 両面テープを貼り付ける際は、貼り付け面をクリーニングしてから貼り付けてください。
 この際、面ファスナーのフック面(硬い方)を温度計の本体側にループ面(柔らかい方)を設置面側に貼り付けます。
 なお、背面に貼り付ける場合はケースの固定ネジを避けてください。
 また、側面に貼り付ける場合はケースの底蓋に掛からないように、カットしてから貼り付けてください。



- 4-2. センサを測定したい箇所に設置する
- 冷蔵庫で使用する場合、扉が右開きの場合は庫内の右側側面に、左開きの場合は庫内の左側側面にセンサを設置します。
 ケーブルは付属のアルミテープを使用して適宜固定し、長すぎる場合は束ねて整頓してください。
 冷蔵庫の扉を閉めた際にガスケットとケーブルの間に隙間が生じる場合は、付属のクッションテープを使用して隙間を埋め、外気の侵入を防いでください。
 (クッションテープにケーブルガイド用の切れ目を入れておくと、より安定します。)

